

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	商工部工業振興課		■担当係	工業係
■評価事業名称	子ども創造塾事業			
■評価事業コード	060100 - 255	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり		
	■基本施策	04 地域産業を担う人づくりと雇用環境の向上		
	■施策	02 ものづくり人材の育成		
■事業の種類	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策	
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称	北上市工業振興計画			
■事業の概要	今後も工業振興によるまちづくりを展開する上で、子どものうちから、ものづくりや科学、起業に興味を覚えてもらうことが大変大事なことであり、その人材育成を行う。主な内容：起業教育＝「トレーディングゲーム」、ものづくり教育＝「ものづくり探検隊、こども科学教室」(発明・工作教室、工場見学、科学教室、ロボットコンテスト等。)			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成24年度事業計画	平成24年度事業量実績
01	子ども創造塾事業	小学生・中学生		①「トレーディングゲーム」小中学校:12校817人 ②「ものづくり探検隊」2回66人 ③「子ども科学教室」3回63人 合計=17日 946人

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
直接事業費	366	770	827	746	
人件費	3,788	5,236	3,731	3,226	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	4,154	6,006	4,558	3,972	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標の説明
01	「トレーディングゲーム」「発明・工作教室」「工場見学」「子ども科学教室」等の開催	9	14	19	17	
02	参加者数	644	943	1,069	946	①「トレーディングゲーム」小中学校:12校817人 ②「ものづくり探検隊」2回66人 ③「子ども科学教室」3回63人 合計=17日 946人

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

03	参加者が工業・科学・仕事・起業等に興味を持ったことがわかること。	0.86	0.89	0.96	0.97	アンケート 興味を持った参加者数/回答者数
04	開催1回あたりコスト	461,555円	429,000円	239,895円	233,647円	
05	1人当たりコスト	6,450円	6,369円	4,264円	4,199円	

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

いきいきゲーム終了後、仕事には創意工夫や他の人との協調性が必要なことの理解が進んだと思われる。

問題点・課題等

いきいきゲームの実施に当たり、実施ライセンスを持った講師及び補助役のサポーターの確保が難しくなっている。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小・要改善
- IV. 民間活用・協働事業化
- V. 廃止・休止
- VI. 完了

補足説明